

記入例1 申述人が成人の場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

戸籍謄本に書いてあるとおり「丁目」や「番地」等を省略せずに記入してください。

収入印紙 円		予納郵便切手 円	
準口頭	関連事件番号 平成 年(家) 第 号		
<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中	申述人 (未成年者などの場合は法定代理人の記名押印)	甲野 一郎	
平成 年 月 日			
添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 戸籍(除籍・改製原戸籍)謄本(全部事項証明書) 合計 2通			
<input checked="" type="checkbox"/> 被相続人の住民票除票又は戸籍附票			
本籍(国籍)	都道府県	市	町
住所	〒	市	町
フリガナ氏名	甲野 一郎	大正 昭和 平成	生 職業
被相続人との関係	① 子 2 孫 3 配偶者 4 直系尊属(父母・祖父母) 5 兄弟姉妹 6 おいめい 7 その他( )		
法定代理人等	1 親権者	住所	電話
	2 後見人		
	3	フリガナ氏名	フリガナ氏名
本籍(国籍)	都道府県	市	町
最後の住所	〒	市	町
フリガナ氏名	甲野 乙太郎	死亡当時の職業	無職
		平成 年 月 日死亡	

認め印でかまいません。

平日の日に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

戸籍謄本に書いてあるとおり「丁目」や「番地」等を省略せずに記入してください。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

亡くなった人のことについて記入してください。

「4その他」にマルをつける場合は( )の部分に「債権者〇〇から通知書が届いた日」など、相続の開始を知った日の説明を具体的に記入してください。

申述の趣旨	
相続の放棄をする。	
申述の理由	
※ 相続の開始を知った日……平成 年 月 日	
① 被相続人死亡の当日	3 先順位者の相続放棄を知った日
2 死亡の通知をうけた日	4 その他( )
放棄の理由	相続財産の概略
※ 1 被相続人から生前に贈与を受けている。	資 農地……約 なし 平方メートル 現金……約 不明 万円
2 生活が安定している。	山林……約 なし 平方メートル 有価証券……約 100 万円
3 遺産が少ない。	宅地……約 なし 平方メートル
4 遺産を分散させたくない。	産 建物……約 20 平方メートル
⑤ 債務超過のため。	負債……約 1,000 万円
6 その他 [ ]	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、申述の理由欄の4、放棄の理由欄の6を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。

1~5に該当しないときはここに記入してください。

亡くなった人が残した財産(負債を含む)について記入してください。

住民票除票又は戸籍附票に書いてあるとおり「丁目」や「番地」等を省略せずに記入してください。